

NEWS RELEASE

平成14年7月17日

日立ビジネスソリューション株式会社

企業間電子商取引ソリューションのラインナップを強化・拡充

- 分散拠点向け受注管理システム「Windy Commerce System」を販売 -

日立ビジネスソリューション株式会社(社長 鴨川 和正、本社 横浜市、資本金 35億6千万円)は、企業間電子商取引(B2B)の直接材取引に対応した受注管理をインターネット・イントラネットのWeb環境で実現する分散拠点向け受注管理システム「Windy Commerce System」を開発し、今般販売を開始します。

近年、日本の企業では取引のスピードアップ、コストの削減を目的として、企業間取引の電子化が大企業主導で急速に進められております。これらの企業と取引を行うサプライヤーではより安く、より早くB2B環境を構築したいというニーズが高まっており、当社ではこのような状況をふまえ、かねてから「受快」シリーズ、「Dandi」シリーズなどサプライヤー向けB2Bパッケージを開発・販売を行い、発売以来1200社を超えるサプライヤーに採用され、ご好評を頂いております。一方、B2Bの発展・拡大に伴い、サプライヤーからは「複数事業所、複数部門で一括管理したい」、「各分散拠点業務で必要とする情報だけ扱いたい」、「パッケージの更新・管理コストを削減したい」というニーズが高まっており、このようなニーズに応えるため、分散拠点のWeb環境での使用を可能にした直接材取引向けB2Bパッケージとして「Windy Commerce System」の開発・販売を行うこととなりました。「Windy Commerce System」はWeb環境での使用が可能であり、取引データをサーバで一括管理、クライアントからはブラウザのみで操作を行うことができます。これにより、既に販売しています単一拠点向けに加え、分散拠点向けの製品提供により多くのサプライヤーのニーズに応えることができるようになります。

1. 特長

(1) 分散拠点のWeb環境で業務を実現

インターネット・イントラネットを利用した分散拠点のWeb環境で受注業務、出荷業務、請求業務を実現します。本製品をサーバに導入することにより、Webサーバ上での取引データの一元管理及び各分散拠点間でのデータ連携を容易に行えます。

(2) 複数バイヤーへの対応

「Windy Commerce System」では、複数のバイヤーとの電子商取引を実現することができます。バイヤー毎にアプリケーションを使い分けする必要がなく、「Windy Commerce System」のみで複数バイヤーとの電子商取引の運用が実現できます。

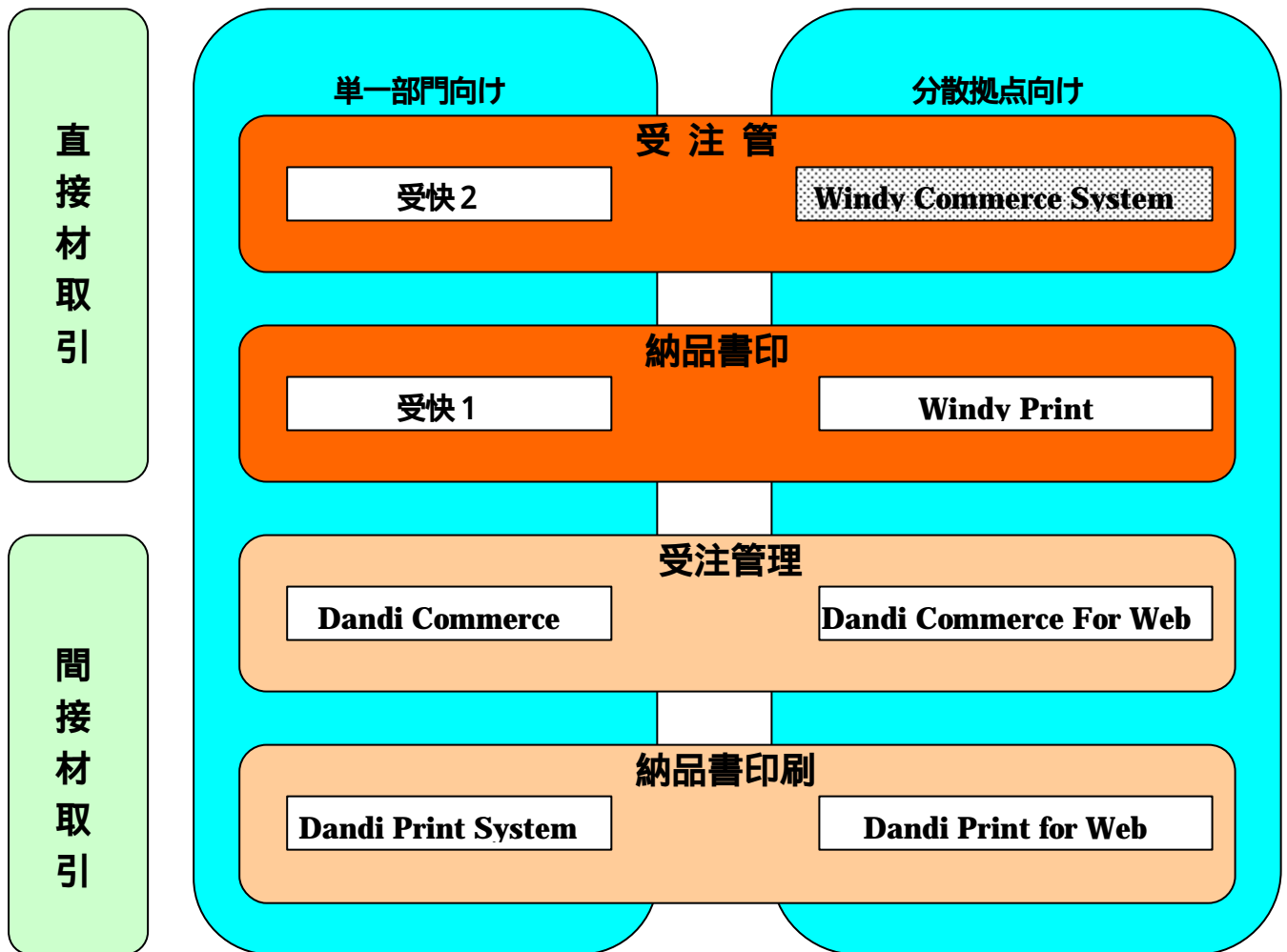
(3) 豊富なオプション・カスタマイズメニュー

豊富なオプション機能やカスタマイズメニューを提供することにより、お客様の業務にジャストフィットするシステムを構築することができます。

(4) マルチプラットフォーム対応

「Windy Commerce System」はJAVAで記述しているため、性能やセキュリティなどお客様の要望に応じてハードウェアやオペレーティングシステムを選択することができます。

2. 企業間電子商取引ソリューションの製品ラインナップ



3. 標準価格・出荷時期

Windy Commerce Systemの価格・出荷時期

| 標準価格 | 出荷時期 | 販売目標 |
|--------------|--------|--------|
| 1,300,000円から | H14年8月 | 100本/年 |

4. 開発及び販売元

日立ビジネスソリューション株式会社

- 以上 -